

数学科（数学〇）学習指導案（ICT を利用した授業実践案）

指導者 〇〇 〇〇

1 日 時 令和 年 月 日（ 曜日）第 限 （ 教室で実施）

2 学 級 年 組 男子 名 女子 名 合計 名

3 学 級 観

4 使用教材 タブレットPC、ロイロノート

5 単 元

6 単元の目標

7 指導計画 （全体 時間）（本時 ／ 時間）

8 本時の目標 問題のポイントを他者と伝え合う活動を通して、問題への理解をさらに深める

9 事前準備 本時で取り組む問題を生徒に提示し、授業までに記述解答を作ってくるよう指示する。

10 本時の展開

ロイロノートを利用した授業の
型の提案であるため、科目名や
単元については空欄としている。
(取り扱う問題によるため)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導 入 1 0 分	○本時の確認 ○ペアとの解答の確認 ○自身の取り組みの振り返り ○問題への理解度の共有	○本時の内容を確認する。 ○2人1組のペアとなり、お互いの解答を見せ合う。不足していると感じた点は自身の解答に赤で加筆する。 ○R80で、事前の取り組みについて振り返る。 ○ロイロノートのアンケートカードに回答する。	○本時の目的は「他者と伝え合う活動を通して、問題への理解を深める」ことである。 ○R80については後述する※ ○書き次第ロイロを準備させる。 ○すぐに結果を共有し、問題への全体の理解を把握する。
展 開 3 0 分	○グループの確認 ○グループで解答の確認 ○問題のポイントを考える ○問題のポイントのまとめ ○問題のポイントの共有	○4人1組のグループになって机を寄せる。 ○各自の解答を共有する。必要であれば赤で加筆する。 ○R80Aで、この問題のポイントについてまとめる。 (話す→書く→発表する) ○各自の考えた問題のポイントを共有し、グループで話し合って2点にまとめる。 ○グループで1台のタブレットを準備し、ロイロノートにポイント2点を記入する。	○導入でのペアと一緒にしないようグループ分けを工夫する。 ○R80Aについては後述する※ ○各グループ内でそれぞれ自由に発言してよい。また、まとめる際に内容を修正してよい。 ○ロイロノートの共有ノート上に、ポイントを記入するカードを準備しておく。

まとめ 10分	○問題のポイントの全体共有 ○本時の振り返り	○他グループが記入したポイントをグループ内で共有し、良い記述について話し合う。 ○R 8 0 で、本時の取り組みについて振り返る。	○ポイントの視点が良いことや、文章の表現として優れているなどが話に出ると良い。 ○R 8 0 については後述する※
------------	-------------------------------	--	--

11 補 足

R 8 0 …中島博司先生が 2016 年に考案した、特定のテーマについて文章でまとめる振り返りツール。

「アールエイティー」と読む。条件は、①2 文 80 文字以内、②2 文を接続詞で結ぶこと。

R 8 0 の由来は Reflection(振り返り)と Restructure(再構築)を 80 文字で書くことから。

R 8 0 A…R 8 0 を発展させた新メソッド。A は「エース」と読み、Active Learning の頭文字から。

①テーマについてペアワーク(1 分)、②R 8 0 の記入(3 分)、③R 8 0 を読み上げる(30 秒)

R 8 0 の前後にアウトプットを加えることで、さらに書きやすく定着しやすい振り返りに。

12 本時の評価規準

学習の目標	評価方法	評価基準		努力を要すると判断された生徒への対応 (c)
		おおむね満足できると判断できる状況 (b)	十分満足できると判断する状況 (a)	
他者と伝え合う活動を通して、問題への理解を深める。	本時の振り返りで行う R 8 0 の記述により評価する。	問題のポイントを考え、他者に伝えることや他者の考えを聞くことができた。	問題のポイントを伝えたり聞いたりしていく中で、さらに理解を深められた。	以降のグループ学習の授業の中で、アウトプットができているかを確認し、声をかける。

13 御 高 評